

投資に関する A～D の記述のうち、妥当なもののみをすべて挙げているのはどれですか。

- A. 投資の限界効率理論では、投資は貯蓄率と投資の限界効率が等しくなるところで決定されると考えます。投資の限界効率は、企業経営者のアニマル・スピリッツに依存する一方、個々の投資プロジェクトの期待収益とは独立に決定させています。
- B. 加速度モデルでは、投資は産出量の水準に比例して変動すると考えます。このモデルは、望ましい最適資本ストックと実際の資本ストックが常に一致すると考えることから、投資の調整費用を考慮したモデルとなっています。
- C. ジョルゲンソンの投資理論では、投資は今期望ましいとされる最適資本ストックと前期末の実際の資本ストックの差の一部 (λ 倍) だけが今期実現すると考えます。このモデルは、 λ の値が最適資本ストックの大きさと独立して決まるといえる点で論理的な矛盾があると批判させています。
- D. トービンの q 理論では、企業は 1 円の資本を購入することにより、1 円以上の企業価値をあげ得る限りにおいて投資に乗り出すとします。また、この理論は、投資の調整費用を考慮したモデルとなっています。

1. A 2. A,B 3. B,C 4. C,D 5. D

(国家一般職 改題)